

CLOSE UP!



## 足の外科

今回は、整形外科に開設された「足の外科」についてご紹介いたします。徳島県では唯一「足の外科」を専門に外来診療を行っている殿谷一朗医師にお話を伺います。

### ● 足の外科とは

人が日常生活を送るうえで足の果たす役割は大きいものがあります。しかし、近年、生活様式の変化や高齢化、またスポーツの普及により足の疾患が増えています。様々な要因のある足の疾患は、どの年代にも起こりうる可能性があります。今回開設された足の外科部門では膝から下の部分(膝は含まない)に起こる疾患を対象として、人間の「歩く」「走る」といった機能を支える分野の医療を提供しています。ひとくちに足の疾患といっても、その種類は様々です。その多種多様な足の疾患に対し、外科的処置を中心に治療を行っていきます。

#### 足の外科で取り扱う疾患の一例

- 外反母趾
- 扁平足障害
- 変形性足関節症
- 足関節の靭帯損傷(足関節捻挫)
- 軟骨損傷
- 各種骨折など…

などのスポーツ障害

外反母趾の治療一例



手術前



手術後



■説明は、  
整形外科  
殿谷一朗(とのがいいちろう)  
特任講師  
■問い合わせ先  
整形外科外来  
TEL / 088-633-7237

※受診にはかかりつけ医の紹介状と予約が必要です。



ていしんしゅう

### ● 低侵襲の外科的処置

当院の足の外科部門では、殿谷医師をはじめ高度な技術を有する医師が診療にあたっているため、痛みや出血の少ない低侵襲の処置を受けることができます。その一例として「関節鏡手術」というものがあります。関節鏡とは、腹腔鏡や胃カメラと同じように、細い管のような器具の先にレンズが付いており、挿入した器具を通じて医師が患部を診ながら処置する医療機器です。従来の関節手術では大きな切開を伴うため、入院期間も長く、費用や痛みなどの面で患者さんには大きな負担がありました。しかし、関節鏡による手術では器具を挿入するための小さな切開で済むため、術後の傷跡も小さく、リハビリテーションも早期に始めることができるため、患者さんの心身的負担が小さくなります。当院の足の外科部門では、この関節鏡手術を積極的に取り入れています。



足関節の内視鏡手術で用いられる細く小さな関節鏡

#### 患者さんへ一言

私は、世界ではじめて人工膝関節置換術に成功し、全米で1番の評価を得ているニューヨークのマンハッタンにある整形外科専門の病院『Hospital for Special Surgery (HSS)』の足の外科部門に約一年半留学し、その真髄を学んできました。その後母校である徳島大学に帰任しました。留学により培った知識を徳島の地域医療に還元するため、できる限り患者さんに喜んでいただけるように頑張って治療していきたいと思っています。

